

公立大学法人大阪  
第1期中期計画の変更案に関する  
各委員ご意見・法人回答

公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
1	質問	前文	中期目標および中期計画 最後の段落で「新しい価値」と「価値の創造」とありますが、ここでいう「価値」とは具体的に何を意味するのでしょうか。また、これらはどの項目に反映しているのでしょうか。	大学統合によって新しい機能や役割を生み出すことにより、新たな存在価値を創造することや、さらなるプレゼンスの向上を意味しています。計画が反映する項目については、個別の項目に該当するということではなく、中期計画全体に取り組むことで、価値の向上や創造を図っていきます。
2	意見	114 新大学の設置	「4つの戦略目標」が中期計画にも書かれていないので、何を指すのかわからない。中期計画で述べられるべき事柄である。それが不可能な場合は、中期計画において「4つの戦略目標」の位置づけ（どこで述べられているのか）とその内容を明記すべき。	ご指摘の通り、4つの戦略領域について、「4つの戦略領域（スマートシティ、パブリックヘルス/スマートエイジング、バイオエンジニアリング、データマネジメント）」と記載をするように改めました。
3	意見	114 新大学の設置	「大阪の発展を牽引する「知の拠点」となる新大学」より「「知の拠点」として大阪の発展の礎となる（または大阪の発展に積極的に寄与する）新大学」として方が、大学の社会への役割として相応しいように思います。大学は発展のための機関車ではなく、機関士に必要な情報や、機関車が進むのに必要なレールのような存在ではないのでしょうか。	中期目標において、「大阪の発展を牽引する「知の拠点」となる新大学」と指示されていますので、それに沿った記載としています。
4	質問	116 教育研究組織の融合	「国際基幹教育機構」とはいかなる組織か、現状との違いや「国際」がつく理由について教えていただきたい。	「国際基幹教育機構」につきましては、英語教育の強化など、より一層のグローバルな視点が必要であるという考えから、「国際」と名称に記載しています。
5	意見	116 教育研究組織の融合	事項名として「融合」が相応しいか検討いただきたい。「（発展的）統合」あるいは「統合整理」とすべきではないか。	中期目標の記載にあわせた表現ですが、変更を検討いたします。
6	質問	118 キャンパスの再編	キャンパスの新設・再編に関して、留学生用宿舎や学生寮の設置計画はあるか？	現状、新たに設置する計画はございません。府大、市大が有する既存施設を活用する予定です。
7	意見	118 キャンパスの再編	「既存キャンパスの集約化」では、キャンパスの廃止がより強調されるので、事項名に合わせて「既存キャンパスの再編・集約化」としたほうがよいのではないのでしょうか。	「既存キャンパスの整備・集約化」という表現に改めました。
8	質問	119 両大学における連携・共同化	「面」という文言が多用されていますが、これによって少し曖昧な表現になっていませんか。あるいは意図があるのでしょうか。	中期目標に沿った記載としています。

公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
9	意見	121 社会変化に対応する人材教育	CP, DPを新大学で作り直すのであれば、「策定する」でもよいが、達成水準のように継続的な見直しを視野に入れるなら、「策定し、継続的に見直す」というほうがよいのではないのでしょうか。また、2つ目の項目に、「広義の教養・・・」とCP, DPについて1つ目の項目とは別の目的を示すのは、おかしい。策定と点検を分けて記述する必要はあるのでしょうか。2つ目の項目は、CP, DPの見直しは含めず、CP, DPに従いつつも社会変化に対応した教育内容改善のことだけを記述すべきではないでしょうか。	「ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)を策定し、変化し続ける社会に対応するよう常に点検し、教育内容を改善する。」という表現に改めました。
10	意見	122 研究者の育成	[中期計画達成水準]に「若手研究者の採用・育成」とあり、対象は博士課程の学生ではなく、助教クラスの若手研究者のことと推察されます。したがって、「ア. 教育に関する目標」ではなく、「イ. 研究に関する目標」に移動すべきと考えます。	達成水準については、下記の通り改めました。 ・指導的研究者、若手研究者の育成に効果的な支援制度の構築 ・優秀な研究人材の採用・育成に効果的な人事制度・雇用制度の設計・運用  記載箇所につきましては、ご指摘のような博士課程の学生の育成も含めての計画として考えており、中期目標に沿った記載となっております。
11	意見	122 研究者の育成→ 132グローバル研究拠点の形成	本項目の主たる目標は、博士後期課程の学生の中から優秀な人材を選んで採用し、最先端の研究を担う助教＝若手研究者として育成していくための人事制度・雇用制度の設計・運用であると理解しました。変更案のイの(イ)では、優秀な若手研究者を学外から呼び寄せることが明示されているだけですが、本来、学内(博士課程後期)からの登用と合わせて、両輪で運用すべきです。122の2つ目の「・」を132に移動、あるいは重複記述すべきと考えます。	No. 132について、「・国内外で活躍する卓越した若手研究者獲得のための給与体系を策定する。」を削除し、ご指摘いただいた通り、No. 122「・若手を含む優秀な高度研究型人才の採用・育成に向け効果的な人事制度・雇用制度を設計し運用する。」を再掲するように修正いたします。
12	質問	122 研究者の育成	各種制度の構築や設計・運用が記述されていますが、これらの制度をどのように連携させるのでしょうか。大学にとって大変重要なことに思います。	今後、新大学推進会議の下に設置の研究推進WGにおいて、それらの人事制度、支援制度等について、効果的に機能するように、検討していきます。
13	意見	123 高度専門職業人の育成	「実施する」とすると、具体的なものは、新規に実施すると読める。既に実施されている具体的な制度名のあるものは、表現を変えたほうがよい。(引き続いて、継続的に、充実させる、など)	中期計画内に「リーディング大学院」等の個別名称を記載しないこととしました。 また、ご指摘の通り既に両大学で実施しているものを継続する取組もありますが、あくまで新大学としての計画ですので、「実施する」の表現としています。

公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
14	意見	124 社会人のリカレント教育	(No. 13と同じ) 「実施する」とすると、具体的なものは、新規に実施すると読める。既に実施されている具体的な制度名のあるものは、表現を変えたほうがよい。(引き続いて、継続的に、充実させる、など)	(再掲) ご指摘の通り既に両大学で実施しているものを継続する取組もありますが、あくまで新大学としての計画ですので、「実施する」の表現としています。
15	意見	125 5つの基礎力を育成するための科目群	この書き方では、人材育成の方針が、DP、CPとは別に、5つの基礎力育成があるように見えてしまう。DPやCPに基づいて5つの基礎力が規定されるように記述するべきではないでしょうか。	・中期目標に沿った計画としております。
16	意見	125 5つの基礎力を育成するための科目群	社会の中で教養、専門的能力、情報収集・分析力、行動力及び自己表現力の5つを <u>発揮できるような科目群</u> → <u>発揮できる人材を育成するための科目群</u> という表現の方がいいのではないのでしょうか。	ご指摘のように、表現を改めました。
17	質問	125 5つの基礎力を育成するための科目群	「5つの力」と「6+1科目群」の関係、6科目群の中の「総合教育科目」、「初年次教育科目」、「基礎教養科目」の間の関係について教えてください。	「6+1科目群」については、「科目群」に表現を改めました。 「総合教育科目」「初年次教育科目」「基礎教養科目」につきましては、教育科目群の名称で、新大学の基幹教育における、科目のグループ名とお考え下さい。
18	意見	125 5つの基礎力を育成するための科目群	情報リテラシー、外国語、健康・スポーツ科学は理解できますが、その他の「〇〇教育科目」については、それぞれの〇〇の関係性が不明です。(「初年次」は1回生が履修する科目の意味?、「基礎」はレベルを意味している?、「総合」は「総合」のこと?) 新入生が混乱しないよう、科目の「群」自体の体系的な整備、名称変更が必要と思います。	科目群に関しては、基本構想P. 24に内容説明を記載しております。 新大学の学生に関しては、入学時の説明等の際に新入生が混乱しないよう説明に努めます。
19	意見	126 新大学による新たな基幹教育	この記述は、整理されていない印象を受けます。まず、(125と同様に、)別の教育目標を設定してる点、キャンパスに言及する意味がはっきりしない点、2つ目の項目を「新大学による新たな基幹教育」の項目に入れる意味がはっきりしない点、3つ目の項目をはたして「基幹教育」の項目に入れることがふさわしいのかという点など。	・「別の教育目標」については、中期目標の記載に沿った計画としております。【質問10再掲】 ・「キャンパス」につきましては、記述を削除いたしました。 ・「2つ目の項目」については、中期目標「専門教育への確実な連結を深める教育」を受けた計画となります。 ・「3つ目の項目」については、中期目標「卒業後も続く友ぎの関係の醸成」を受けての計画でしたが、同窓会に関する記述は削除いたしました。

公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
20	質問	126 新大学による新たな基幹教育	同窓会へのサポートが基幹教育とどう関係するのかについて教えてください。	【質問13再掲】 中期目標「卒業後も続く友ざり関係の醸成」を受けての計画でしたが、同窓会に関する記述は削除いたしました。
21	質問	127 教育の質保証	国際基幹教育機構によるマネジメントとはどういうものか、どういう理念・考え方で何をマネジメントする体制を構築しようとしているのか教えてください。何事も外部の権威に頼ってはいない内発的な改革にならないのではと懸念します。	計画本文を下記の通りに改めました。 ・教育の質を保証するためのマネジメント体制を確立する。 ・教育の質の向上のため、ファカルティディベロップメント (FD) ・スタッフディベロップメント (SD) を適切に実施する。 また、学生へのアンケート調査、一元的に管理した教学データを活用した教学IR、および、3ポリシーの整合性の検証、自己点検・評価を実施する。  教育の質保証に関するマネジメント理念や体制については、今後検討を進めます。
22	意見	130 先端研究、異分野融合研究等の推進	研究者の自由な発想に基づく基盤的研究があって初めて先端研究や異分野融合研究が可能となる。中期目標にも「基礎から応用までの一貫した研究を充実する」とされているので、計画においてもその点に対する配慮が必要ではないか。	下記の通り、計画の記載を改めました。  「・基礎から応用までの一貫した研究を充実し、研究水準の向上を図るとともに、世界をリードする先端研究、複合的研究・異分野融合研究の開拓・推進を重点的に支援する研究戦略および研究支援体制を構築する。
23	意見	131 地域課題解決型研究の推進	「"ポスト・コロナ"の」とありますが、広く「新型コロナウイルス感染症に備えた」とした方が適切に思います。	この度の中期計画変更は、新型コロナウイルス感染症により大きく社会が変化したタイミングでの変更になること、また中期目標期間を通して影響を受け続けると予想されることから、時間（期間）の表現として「ポスト・コロナ」としております。研究対象は広範囲に及ぶと考えますが、来年度については、喫緊の課題として新型コロナウイルス感染症に取り組む予定です。
24	意見	132 グローバル研究拠点の形成	「世界へ展開する高度研究型大学を目指す」新大学にとって、最重要の計画項目と考えます。現状案では、展開すべき施策が記述されているだけですが、研究拠点を実際に担うのは一人ひとりの研究スタッフ（教授、准教授、助教、ポスドク、博士課程学生）です。高度研究型大学であると認められるのに必要な質の高い論文の発表数を目標に掲げては如何でしょうか？ 高被引用論文（各研究分野における被引用数が世界の上位1%に入る論文）、あるいは査読付きジャーナルへの掲載論文の数などが指標として考えられます。検討をお願いします。	現時点では具体的に目指すべき数字の設定は困難ですが、次回の中期計画変更の際に、ご指摘いただいた内容の計画及び達成水準の設定を検討させていただきます。

公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
25	質問	132 グローバル研究拠点の形成	項目名は異なるものの、若手研究者の視点から、項目122と内容が一部重複しないのでしょうか。	ご指摘の通り、内容としては重複するものになりますが、No. 122は人材育成の観点、No. 132は研究拠点を形成するという観点の計画となります。
26	質問	133 グローバルに活躍できる研究者の育成	項目名は異なるものの、若手研究者の視点から、項目122と内容が一部重複しないのでしょうか。	No. 133は研究拠点の形成という観点からの計画になりますが、ご指摘の通り、グローバル人材の育成に関する内容で、重複するものになりますので、No. 122の計画を再掲しています。
27	質問	134 イノベーション創出拠点の形成	「共著論文執筆等への支援」とは何か？	下記の通り、計画の記載を改めました。  「・新大学をイノベーション創出拠点とするため、国内外の大学や研究機関、行政、産業界と連携し、異分野融合的な研究推進体制を構築する。 ・効果的な研究支援を行うため、組織的な支援体制を構築する。」
28	質問	134 イノベーション創出拠点の形成	異分野融合的な研究推進体制とはどのようなものですか。	具体的な研究推進体制（研究組織、研究支援体制など）は、現在検討を進めているところです。
29	意見	137 地域課題の解決に資する人材の育成	学生の育成を目標としているので、「ア. 教育に関する目標」に移動すべきと考えます。	ご指摘の通り、学生の育成に係るもので教育と関係する項目となりますが、記載箇所としては中期目標に沿っています。
30	質問	141 都市シンクタンク機能の整備	「パブリックデータ」とは具体的に何を示すのですか。	パブリックデータについては、主に府市、公設試験研究機関、自治体等の保持する様々なデータを想定しています。集約、分析する具体的なデータの内容については、ニーズを踏まえ、情報提供元との調整を含めて、今後検討いたします。
31	意見	142 技術インキュベーション機能の整備	「売り込みを行い」という表現は利潤を追求することを目的としない大学法人として相応しくないだろう。「積極的に提案し」あるいは「アピールし」や「働きかけを行い」としてはどうか。	下記の通り、計画の記載を改めました。  「・技術インキュベーションにかかる新大学の戦略領域「バイオエンジニアリング領域」として戦略的に取り組むべき研究分野を定め、産学官連携による研究推進体制を整備する。 ・また人材育成の観点から、教育研究組織の再編を検討する。」
32	意見	143 研究における国際競争力強化	共同研究は双方に必要があって実を結ぶものである。個人の国際共同研究にどのようなインセンティブ付与することで活性化されるとお考えか？大学としてインセンティブを与えることが有効か？	ご指摘の通り、共同研究は双方に必要によって実施されるものですが、例えば共同研究費、公費へのインセンティブ付与や支援によって、教員の国際的な研究が促進できるものと考えております。

公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
33	意見	143 研究における国際競争力強化	(3) 国際力の強化に分類されているが、「高度研究型大学」を目指す新大学にとって最重要の計画項目。「(1) 大学として求められる基本的役割のさらなる強化 イ. 研究に関する目標」に移動、あるいは重複して記載すべきと考えます。	ご指摘の通り、中期目標のグローバル研究拠点の形成の項目(No. 132, 133)と関係のある計画として、同様の内容を記載するようにいたしました。
34	質問	143 研究における国際競争力強化	「国際力」とは「国際競争力」のことでしょうか。	「国際力」という言葉自体は、中期目標に基づいた表現としています。法人としては、No. 143にあるような研究の国際競争力だけではなく、学生の海外派遣の充実などのグローバル人材の育成、多様な留学生の受入やサポートの充実などを含めた、国際的な教育、研究、社会貢献を行う機能を強化していくという意味で、「国際力の強化」としています。
35	意見	144 グローバル人材の育成	学生の海外派遣の対象は実質的にはアジア諸国が中心になると思われる。一方通行ではなく、派遣と受け入れの双方向性の観点人材育成に必要ではないか。	学生の海外派遣及び留学生受け入れにつきましては、No. 146に記載しております。
36	意見	144 グローバル人材の育成	(3) 国際力の強化に分類されているが、「応用力や・・・国際力豊かな高度人材の育成」を目指す新大学にとって非常に重要な計画項目。「(1) 大学として求められる基本的役割のさらなる強化 ア. 教育に関する目標」に移動、あるいは重複して記載すべきと考えます。	ご指摘の通り、教育に関する項目となりますが、本項目は特にグローバル教育の展開するための手法について記載しています。
37	意見	146 留学生支援の充実	挙げられている計画は従来の延長線上にあり新大学の目標の一つである国際力の強化の実現が危惧される。たとえば新キャンパスに留学生用宿舎を建設するくらいの大膽な計画が望まれる。また、大膽な計画に基づいて正規の大学院留学生の受け入れ目標(人数あるいは比率)を設定してはどうか。	新キャンパスに宿舎を建設する予定はありませんが、市営住宅等の既存施設の転用等については、府市に協力を求めていくものです。大学院留学生の受け入れ目標については、基本構想においても、新大学が重点的に取り組む指標として挙げており、設定する予定です。具体的な人数等は、新大学開学に際しての計画変更の際に検討いたします。
38	意見	146 留学支援の充実	(3) 国際力の強化に分類されているが、「応用力や・・・国際力豊かな高度人材の育成」を目指す新大学にとって非常に重要な計画項目。「(1) 大学として求められる基本的役割のさらなる強化 イ. 研究に関する目標」に移動、あるいは重複して記載すべきと考えます。	ご指摘の通り、教育、研究ともに関係する項目となりますが、記載箇所としては中期目標に沿っています。

公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
39	質問	1. 両大学の統合による新大学実現に向けた取組の推進	1) 公立大学という位置づけと、大学を強くするという視点から、複数の特徴を作り出す取り組みは必要ないのでしょうか。 2) 1)は新学部や新研究科の設置を意味するのでしょうか。	新大学の具体的な特徴等については、第7章3以降に記載しております。情報学研究科の新設は、その特徴を表す1つです。
40	意見	2. 両大学の連携の推進	1) 共通する業務が重複するので、優秀な余剰人員を捻出して、大学をより機能的にする取り組みができる絶好の機会ではないでしょうか。	新大学の開学後しばらくは、新大学、府大、市大が並存することとなるので、人員が多く必要となります。将来的には重複する業務が解消され、ご意見のような取り組みが可能となるものと考えます。
41	質問	2. 両大学の連携の推進	2) 都市シンクタンクと技術インキュベーションの2つの機能を獲得するための具体的整備はどのようになるのでしょうか。人材面での整備や育成が重要に思います。	「都市シンクタンク」及び「技術インキュベーション」については、具体的な整備をどのようにしていくかも含めて、検討をすすめているところです。なお、本項目は新大学開学までの目標となり、開学後の取組については、No. 141, 142に記載しており、下記の通り計画の記載内容を改めました。  No. 141 「・高度化・複雑化する大阪の多様な都市課題の解決に資するため、これまでの研究で培われた高度な知見に基づく提案・提言を行うとともに、パブリックデータの分析などデータマネジメント機能を発揮することを通じて、大阪府、大阪市との連携の下、都市シンクタンク機能としての役割を果たす。」  No. 142 「・技術インキュベーションにかかる新大学の戦略領域「バイオエンジニアリング領域」として戦略的に取り組むべき研究分野を定め、産学官連携による研究推進体制を整備する。 ・また人材育成の観点から、教育研究組織の再編を検討する。」
42	質問	新大学に関する目標	1) 教育研究について、両大学と重なる項目や内容については、整理されるという理解でよいでしょうか。	教育研究に関する目標を達成するための措置については、新大学の開学にあわせて予定される中期計画変更の際に整理を予定しています。
43	意見	全般について	一般的に、統合にはメリットとデメリット（困難と言い換えても良いでしょう）が存在します。両者を具体的に把握し、メリットをより効果的に、そしてデメリットを最小に、あるいはメリットにする取り組みを具体的に挙げていくことが大切に思います。	中期計画全体として、特に統合によるメリットをより効果的に発揮できるよう、ご指摘の考え方で作成しております。



公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
■ 第二回評価委員会での意見				
44	意見	No. 114-120 第7の1及び2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新大学の設置に向けた様々な準備を進めていくということについて記載が必要ではないか。(組織など)</li> <li>・ 新大学設置後に府大・市大も併存することに関して、移行期における対応に関する記載</li> </ul> <p>教員負担や学生負担がないようにするだけでなく、円滑な移行のための取り組みもあります。3大学(府市公立)体制をいかに速く円滑に1大学(公立)体制に持って行くかとか、教務での読み替えにおける混乱を最小限にするとか、府市立大学として入学した学生が新大学のメリットを享受できるようにするといったことを含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「新大学の設置に向けた様々な準備」につきましては、第7の3「新大学の取組に関する事項(=2022年度以降の取組)」の年度計画に記載する予定です。また、中期計画上においては、No. 114から118が準備に関する記載となります。(なお、年度計画に関して、2021年度までは新大学設立前なので記載すべき取組がないところ、設立団体の指示により、設立に向けた準備を記載することとしています。)</li> <li>・ また、新大学と旧大学が並存する期間の対応については、中期計画の第2の1及び2において、府大・市大の計画を記載しているとおり、新大学設置後も府大・市大のそれぞれの計画に基づき、学生・教職員の負担をできるだけ軽減するよう適切な大学運営に努めてまいります。</li> <li>・ なお、ご提案をいただいております、府大・市大の学生を新大学に移行させるという対応については、文部科学省から認めていない旨、回答をいただいております。</li> </ul>
45	意見	No. 122 研究者の育成	1つ目の・と2つ目の・の区別がつくよう、1つ目の・に効果的な支援制度(人事制度・雇用制度以外)の具体例を追記いただきたい。	「研究費などの効果的な支援制度を構築する。」に修正いたします。
46	意見	125 5つの基礎力を育成するための科目群	5つの基礎力とCPの整合性が取れている旨を明記いただきたい。	「・3つのポリシーに基づき、社会の中で教養、専門的能力、情報収集・分析力、行動力及び自己表現力の5つの力を発揮できる人材を育成するための科目群を体系的に配置するため、」に修正いたします。
47	意見	132 グローバル研究拠点の形成	被引用件数等のアウトプットを計画に記載すべき又は具体的な数値を明記できなくとも、具体的な数値目標を基づくなど、具体的な数値目標を重視したグローバルな研究体制に努めていくなどの記載をいただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実績評価において、客観的な評価基準として、数値目標を可能な限り設定することが求められていますので、中期計画及び年度計画においてはそれらを設定する方針です。</li> <li>ただし、新大学については、現在も具体的な検討を進めているところであり、目指すべき数値目標の検討まで至っていないため、現時点では中期計画に具体的な数字の記載や数値目標に基づくなどの記載は困難であると考えております。</li> <li>・ 各項目における適切な数値目標や具体的に目指すべき数字については、その設定方法も含めて今後検討を進め、来年度に予定される新大学設置認可後の中期目標変更を受けての中期計画変更及び年度計画作成の際に、数値目標を設定いたします。</li> </ul>

公立大学法人大阪 第1期中期計画の変更案に関する各委員ご意見・法人回答

番号	分類	事項	内容	回答
48	意見	146 留学支援の充実	留学支援の充実に関して、従来の延長線上にあるような計画になっている。より積極的取り組みなど、具体的に追記可能な記載があれば検討をお願いしたい。	<p>・委員会でご提案いただいたような留学生寮の建設など、従来の延長線上にない新たな取組については、府市による財政措置等も必要な内容になることもあり、計画への記載はできません。</p> <p>また、その他の新たな取組についても、今年度に検討を進め、素案を作成する段階ですのでまだ例示はできません。来年に予定している新大学設置認可後の中期目標変更を受けての中期計画変更の際に、計画への記載をさせていただきます。</p> <p>・なお、留学生の受け入れに関する支援制度に関する中期目標の記載を受けて、「・海外インターンシップの推進や、留学生受入や海外派遣への各種支援制度の充実を図る。」に修正をいたしました。</p>